

## 2024年3月期 中間決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 株式会社伸和ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 7118 URL <https://shinwa-holdings.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 稔之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 大野 誠 TEL 011 (624) 7871  
 中間発行情報提出予定日 2023年12月27日 配当支払開始予定日 -  
 中間決算補足説明資料作成の有無：無  
 中間決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期中間期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期中間期	2,801	5.6	67	—	71	△43.1	46	△26.7
2023年3月期中間期	2,652	—	△34	—	126	—	63	—

(注) 中間包括利益 2024年3月期中間期 46百万円 (△26.7%) 2023年3月期中間期 63百万円 (—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期中間期	35.66	34.65
2023年3月期中間期	48.65	—

(注) 2023年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2023年3月期中間期において非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期中間期	2,488	438	17.6
2023年3月期	3,053	432	14.1

(参考) 自己資本 2024年3月期中間期 438百万円 2023年3月期 432百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	31.00	31.00
2024年3月期	—	0.00			
2024年3月期（予想）			—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 2. 2024年3月期の配当予想については、現時点で未定であります。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,757	7.4	135	152.1	137	△49.9	90	△33.9	69.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2024年3月期中間期	1,300,000株	2023年3月期	1,300,000株
2024年3月期中間期	一株	2023年3月期	一株
2024年3月期中間期	1,300,000株	2023年3月期中間期	1,300,000株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 財政状態に関する説明 .....	2
(2) 経営成績に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(会計上の見積りの変更) .....	10
(セグメント情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は2,488,594千円となり、前連結会計年度末に比べ565,291千円減少いたしました。これは主に、売掛金が21,576千円、建物及び構築物が19,904千円増加した一方で、現金及び預金が596,238千円、機械装置及び運搬具が9,993千円減少したこと等によるものであります。

#### (負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は2,050,527千円となり、前連結会計年度末に比べ571,353千円減少いたしました。これは主に、買掛金が178,115千円、未払金が77,078千円増加した一方で、長期借入金が769,279千円、1年内返済予定の長期借入金が57,439千円減少したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は438,066千円となり、前連結会計年度末に比べ6,062千円増加いたしました。これは配当金の支払いにより利益剰余金が40,300千円減少した一方で、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が46,362千円増加したことによるものであります。

### (2) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症へ移行されたことに伴い、経済活動の正常化が進み、景気回復に向かう動きが鮮明になりました。しかしながら、資源価格の高騰、円安や人手不足によるコスト増加等、国内における経済の見通しは依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染症の5類移行を受けて、来店客数及び売上は順調に回復に向かっております。一方で、人手不足、原材料や光熱費の高騰等、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、コーポレートスローガンである「食を通じてあふれる感動」に基づき、「飲食事業」及び「物販事業」の店舗展開を引き続き積極的に進めるとともに、「卸売事業」の拡充を図ることにより早期の業績回復に向けて努めて参りました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### <飲食事業>

飲食事業におきましては、当中間連結会計期間末の店舗数は新たに2店舗出店し、1店舗退店した結果、41店舗となりました。当中間連結会計期間においては、繁華街の店舗を中心に来店客数が増加し、営業成績は堅調に推移したことにより、飲食事業における売上高は1,719,672千円（前年同期比25.8%増）、セグメント利益は185,000千円（前年同期比81.7%増）となりました。

#### <物販事業>

物販事業におきましては、当中間連結会計期間末の店舗数は新たに1店舗出店した結果、53店舗となりました。当中間連結会計期間においては、既存店舗における来店客数が堅調に推移し、様々な施策を講じつつ、原価管理を適正に行ったことにより、物販事業における売上高は1,022,637千円（前年同期比5.4%増）、セグメント利益は103,164千円（前年同期比40.6%増）となりました。

#### <卸売事業>

卸売事業におきましては、新規取引先の開拓が苦戦したことにより、売上高は59,396千円（前年同期比81.2%減）、セグメント利益は524千円（前年同期比87.0%減）となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高2,801,706千円（前年同期比5.6%増）、営業利益67,880千円（前中間連結会計期間は営業損失34,408千円）、経常利益71,636千円（前年同期比43.1%減）、親会社株主に帰属する中間純利益46,362千円（前年同期比26.7%減）となりました。

(3) キャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ596,238千円減少し、1,149,652千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動により得られた資金は、299,910千円(前年同期は150,559千円の獲得)となりました。これは主に、仕入債務の増減額158,892千円、未払金及び未払費用の増減額105,087千円、税金等調整前中間純利益69,830千円があった一方、売上債権の増減額21,576千円、未払又は未収消費税等の増減額20,713千円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動により使用した資金は、23,963千円(前年同期は173,299千円の使用)となりました。これは主に、補助金の受取額7,500千円があった一方、有形固定資産の取得による支出32,544千円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動により使用した資金は、872,185千円(前年同期は122,222千円の使用)となりました。これは、長期借入金の返済による支出826,718千円、配当金の支払額40,300千円、リース債務の返済による支出5,167千円があったことによるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「2024年3月期第2四半期累計期間における連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当中間連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,745,890	1,149,652
売掛金	253,043	274,619
商品及び製品	220,321	230,089
原材料及び貯蔵品	39,263	31,996
その他	57,396	71,903
貸倒引当金	△1,500	△1,500
流動資産合計	2,314,414	1,756,761
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	129,128	149,033
機械装置及び運搬具(純額)	158,887	148,893
工具、器具及び備品(純額)	54,052	56,030
土地	91,479	91,479
リース資産(純額)	35,755	30,560
建設仮勘定	6,867	-
有形固定資産合計	476,170	475,997
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
敷金及び保証金	172,405	172,035
繰延税金資産	75,968	69,796
その他	14,926	14,002
投資その他の資産合計	263,300	255,834
固定資産合計	739,471	731,832
資産合計	3,053,885	2,488,594

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当中間連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	220,561	398,676
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	256,853	199,414
リース債務	11,313	11,313
未払金	203,327	280,405
未払費用	45,034	64,528
未払法人税等	21,957	17,562
賞与引当金	2,611	4,931
店舗閉鎖損失引当金	183	-
資産除去債務	534	-
その他	88,468	76,201
流動負債合計	950,845	1,153,033
固定負債		
長期借入金	1,556,921	787,642
リース債務	28,023	22,855
資産除去債務	85,091	85,996
その他	1,000	1,000
固定負債合計	1,671,036	897,493
負債合計	2,621,881	2,050,527
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,000	13,000
利益剰余金	419,004	425,066
株主資本合計	432,004	438,066
純資産合計	432,004	438,066
負債純資産合計	3,053,885	2,488,594

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,652,499	2,801,706
売上原価	1,190,595	1,071,765
売上総利益	1,461,903	1,729,940
販売費及び一般管理費	1,496,312	1,662,060
営業利益又は営業損失(△)	△34,408	67,880
営業外収益		
受取利息	22	14
受取保険金	4,263	2,007
受取賃貸料	3,649	-
補助金収入	160,157	7,644
協賛金収入	3,129	854
その他	360	890
営業外収益合計	171,584	11,412
営業外費用		
支払利息	6,780	3,205
不動産賃貸原価	981	-
現金過不足	3,164	4,000
その他	210	450
営業外費用合計	11,136	7,656
経常利益	126,038	71,636
特別利益		
固定資産売却益	32	-
投資有価証券売却益	4	-
特別利益合計	37	-
特別損失		
減損損失	28,735	1,806
特別損失合計	28,735	1,806
税金等調整前中間純利益	97,339	69,830
法人税、住民税及び事業税	2,088	17,296
法人税等調整額	31,997	6,171
法人税等合計	34,085	23,467
中間純利益	63,253	46,362
親会社株主に帰属する中間純利益	63,253	46,362



(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
中間純利益	63,253	46,362
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
中間包括利益 (内訳)	63,253	46,362
親会社株主に係る中間包括利益	63,253	46,362

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	利益剰余金			株主資本合計	
		利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	13,000	—	281,879	294,879	294,879	294,879
当中間期変動額						
剰余金の配当						
利益準備金の積立						
親会社株主に帰属する当中間純利益			63,253	63,253	63,253	63,253
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)						
当中間期変動額合計	—	—	63,253	63,253	63,253	63,253
当中間期末残高	13,000	—	345,133	358,133	358,133	358,133

当中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	利益剰余金			株主資本合計	
		利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	13,000	—	419,004	419,004	432,004	432,004
当中間期変動額						
剰余金の配当			△40,300	△40,300	△40,300	△40,300
利益準備金の積立		3,250	△3,250	—	—	—
親会社株主に帰属する当中間純利益			46,362	46,362	46,362	46,362
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)						
当中間期変動額合計	—	3,250	2,812	6,062	6,062	6,062
当中間期末残高	13,000	3,250	421,816	425,066	438,066	438,066

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	97,339	69,830
減価償却費	50,056	42,060
減損損失	28,735	1,806
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,169	2,320
受取利息及び受取配当金	△22	△14
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△3,179	△183
支払利息	6,780	3,205
売上債権の増減額(△は増加)	19,209	△21,576
棚卸資産の増減額(△は増加)	△28,202	△2,501
仕入債務の増減額(△は減少)	687	158,892
未払又は未収消費税等の増減額	44,736	△20,713
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△26,515	105,087
受取保険金	△4,263	△2,007
補助金収入	△160,157	△7,644
協賛金収入	△3,129	△854
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△25,966	△14,852
その他の固定資産の増減額(△は増加)	861	△1,158
その他の流動負債の増減額(△は減少)	2,191	9,124
その他	38	1,452
小計	△2,967	322,272
利息及び配当金の受取額	22	14
利息の支払額	△6,696	△2,838
保険金の受取額	4,263	2,007
補助金の受取額	160,157	144
法人税等の支払額	△4,220	△21,691
営業活動によるキャッシュ・フロー	150,559	299,910
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△176,729	△32,544
有形固定資産の売却による収入	32	-
敷金及び保証金の差入による支出	△1,206	△466
敷金及び保証金の回収による収入	4,516	1,098
資産除去債務の履行による支出	△139	-
補助金の受取額	-	7,500
その他	227	448
投資活動によるキャッシュ・フロー	△173,229	△23,963
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△116,227	△826,718
リース債務の返済による支出	△5,995	△5,167
配当金の支払額	-	△40,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	△122,222	△872,185
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△144,962	△596,238
現金及び現金同等物の期首残高	2,417,171	1,745,890
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,272,209	1,149,652

(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前中間連結会計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結財務諸 表計上額 (注) 2
	飲食事業	物販事業	卸売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,366,863	969,569	316,066	2,652,499	-	2,652,499
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,366,863	969,569	316,066	2,652,499	-	2,652,499
セグメント利益 又は損失(△)	101,810	73,361	4,064	179,236	△213,644	△34,408

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△213,644千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結財務諸 表計上額 (注) 2
	飲食事業	物販事業	卸売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,719,672	1,022,637	59,396	2,801,706	-	2,801,706
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,719,672	1,022,637	59,396	2,801,706	-	2,801,706
セグメント利益 又は損失(△)	185,000	103,164	524	288,690	△220,809	67,880

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△220,809千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。